

# 旭川2年ぶり勝利



発行所  
北海道新聞社  
郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西 3-6  
電話 011(221)2111

速報

ご購入申し込みは  
0120-464-104

道新スポーツ



先発で六回を投げて西武打線を2点に抑え、ほぼ1カ月ぶりの勝利を挙げた多田野投手

プロ野球パ・リーグ公式戦、北海道日本ハムファイターズー埼玉西武ライオンズの18回戦は24日、旭川スタルヒン球場で行われ、日本ハムが集中打と多田野の好投で、9ー3で快勝した。日本ハムは旭川で2年ぶりの勝利。球場を埋めた2万5000人の満員のファンを喜ばせた。

日本ハムは二回、小谷野の3号ソロ本塁打で先制。高橋の二塁打、金子誠の安打で一死一、三塁とし、鶴岡の適時打で1点。さらに、森本、高口、田中賢が連続適時打を放った。この回打者9人で7安打を集中して計6点を奪い、試合の主導権を握った。四回には鶴岡の二塁打と田中賢の適時打で1点を加えた。六回にもホッツの二塁打で追加点を挙げた。

先発の新人・多田野は直球と変化球を織り交せて力投。三回にブラゼルに犠飛、五回に栗山にソロ本塁打を許したが、味方の好守備もあり六回まで西武打線を2点に抑えた。七回は建山、八回は武田久、九回は菊地の必勝リレーで逃げ切った。多田野は7月25日以来の7勝目。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
西武	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
日本ハム	0	6	0	1	0	1	0	1	X	9